

2021年度秋学期 授業に関するアンケート総評

同志社女子大学 教育開発支援センター長
和氣 早苗

はじめに

「授業に関するアンケート」は、個々の授業改善を第一の目的として実施されているが、全体を俯瞰することにより、全学的な傾向や各学科の特徴を見ることができ、それによってカリキュラムの妥当性を確認したり、FDの方向性を見いだすこともできると考えている。

今回、2021年度秋学期の授業に関するアンケートの総評として、特徴的と思われる6項目に着目し以下に述べさせて頂く。

- アンケートの方法
 - 原則として全科目で実施
 - 授業第14,15週目での実施を推奨（2022/1/6～2/10）
 - マナビーを用いたオンライン形式
 - アンケートの質問項目と回答方法は本報告末の付録1に記載

総評

今期授業アンケートの総評の項目として以下の6点を挙げる。
各項目について次ページ以降に述べる。

- (1) 授業アンケート回答率は一層の低下、至急対策が必要
- (2) 全学総評価平均はますます良好
- (3) 国際教養学科科目の評価が極めて高い
- (4) 遠隔授業の評価は良好
- (5) 学生が授業で向上したと感じる力(DWCLA10)は、
①思考力 ②分析力 ③自己管理能力
- (6) DWCLA10について「国際教養学科科目で総合的に」、
その他「各学科科目の特徴に対応した力」がついたとの評価

(1) 回答率の一層の低下、至急対策が必要

- 今期回答率… 41.9%
前回より低下、初めて50%を下回った
- オンライン化による、回答率低下
- オンライン化以降の減少傾向

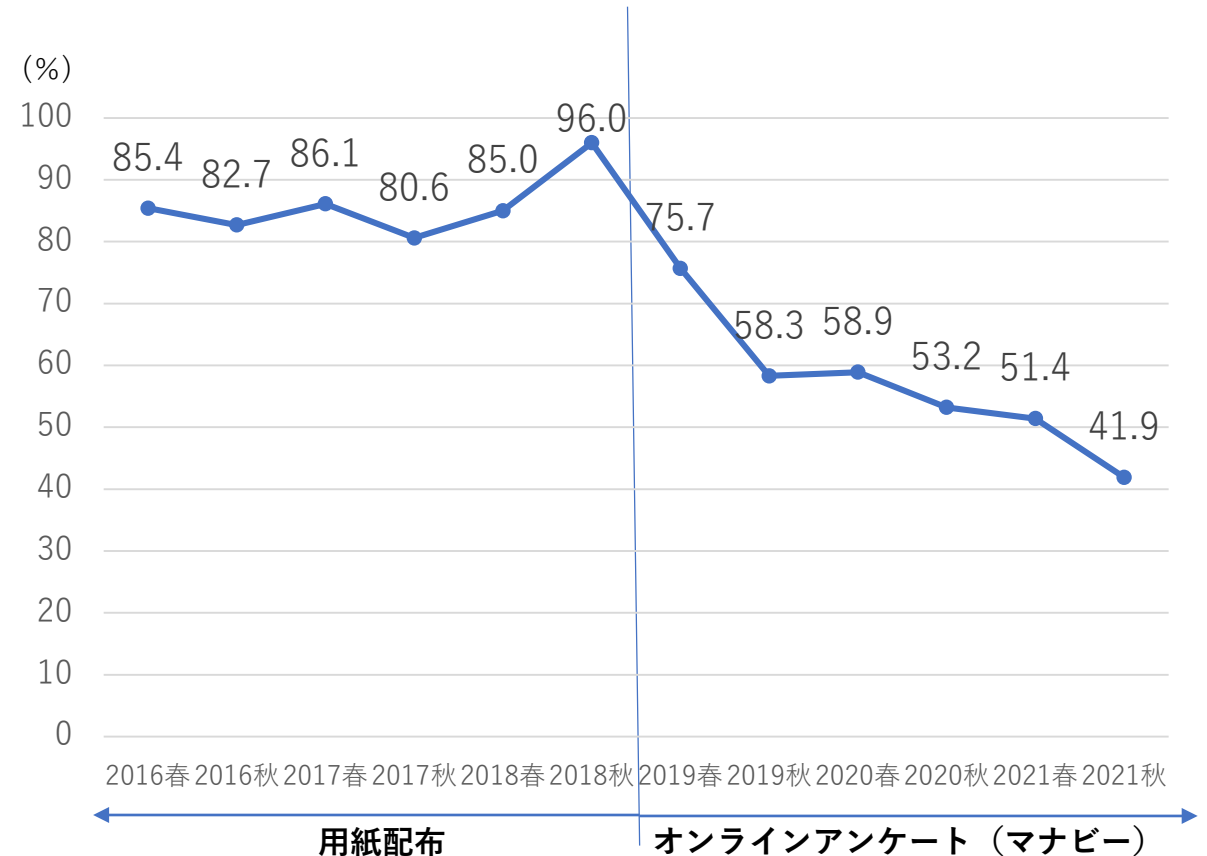
授業時間内実施の減少、教員のアナウンス忘れ、学生の回答忘れ（授業後回答できるようになったことによる）、などが原因か？



早急に対策を講じる必要がある。

まずは来学期より、第14週目の授業冒頭（授業時間内）での実施を推奨することとする。

それについてメールや校内放送等での周知、リマインド方法についても検討したい。

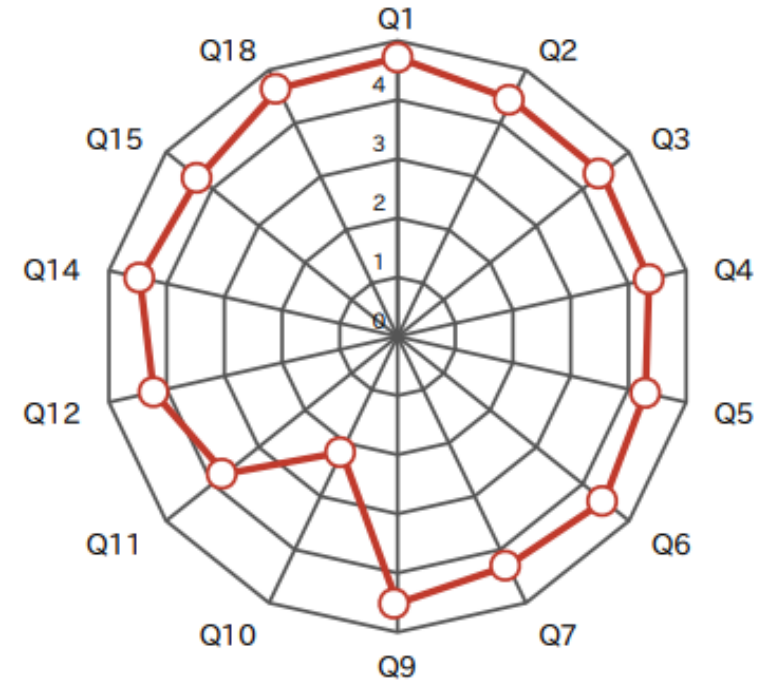


(2021年度秋：のべ履修者数53,802, 回答数22,545)

授業アンケート回答率の推移

(2) 全学総評価平均はますます良好

- 全体俯瞰では、ほとんどの質問で平均評価4（5段階中）を超えている。
→総括的には悪くはない結果と思われる。
- 評価が最も低いように見えるQ10は、自主学習時間を問うもので、選択肢5は3時間以上の場合に選択される。度数分布データ（掲載なし）によると、選択肢1(30分未満)が40%程度、選択肢2(30分-1時間未満)が25%程度という回答だった。
→選択肢の置き方が適切か検討する必要あるが、授業によって必要な自主学習時間が大きく異なるため、一律に設定するのは難しいかもしれない。
- Q11（積極的な意見・質問）も評価が4を切っている。
→授業のスタイルにもより、評価が分かれると思われるが、アクティブ・ラーニングの観点から言うと、講義スタイルとして意見・質問が出やすい仕組みを作る努力は有意義であろう。



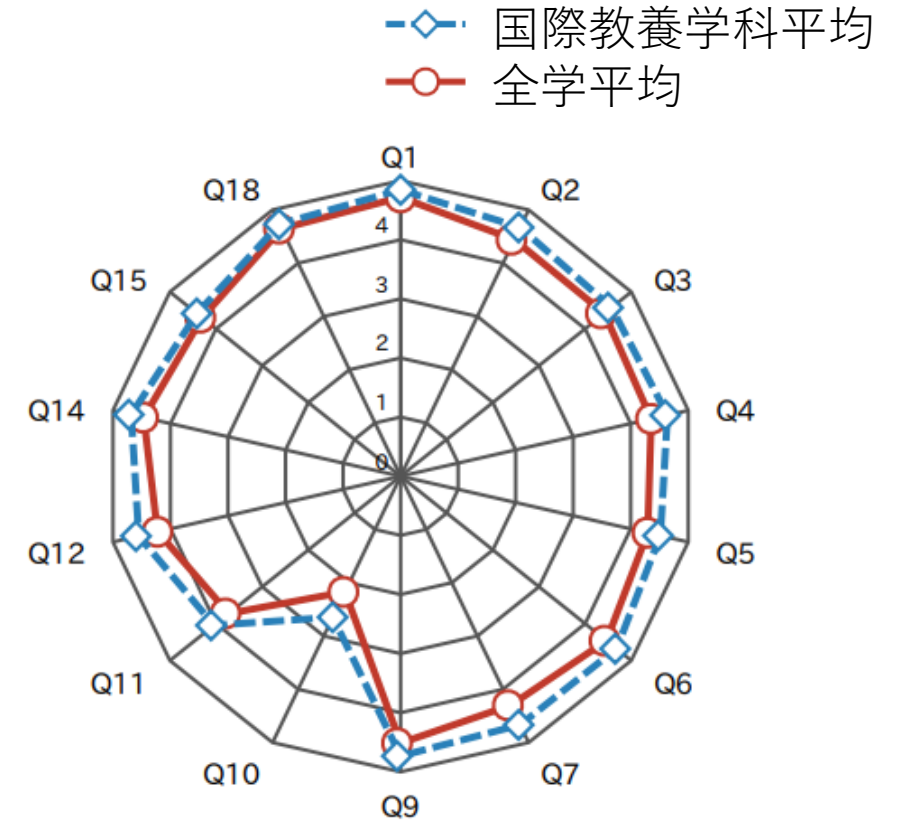
全体集計結果
(各質問項目は付録1参照)

(3) 国際教養学科の評価が高い

- 国際教養学科の評価は、全学平均と比較して高い。
- 他学科との比較においても、群を抜いて高評価である。質問項目ごとの学科比較（掲載なし）では、Q10（自学習時間）を除いたすべての項目において、トップである。

→学科の特色である海外留学が実施できないというハンデがあっても、これだけの高評価を得ている。学科教職員の努力があってこそ、と思われる。

その取り組みやノウハウについて紹介いただく機会を設け、全学的な評価向上につなげていきたい。



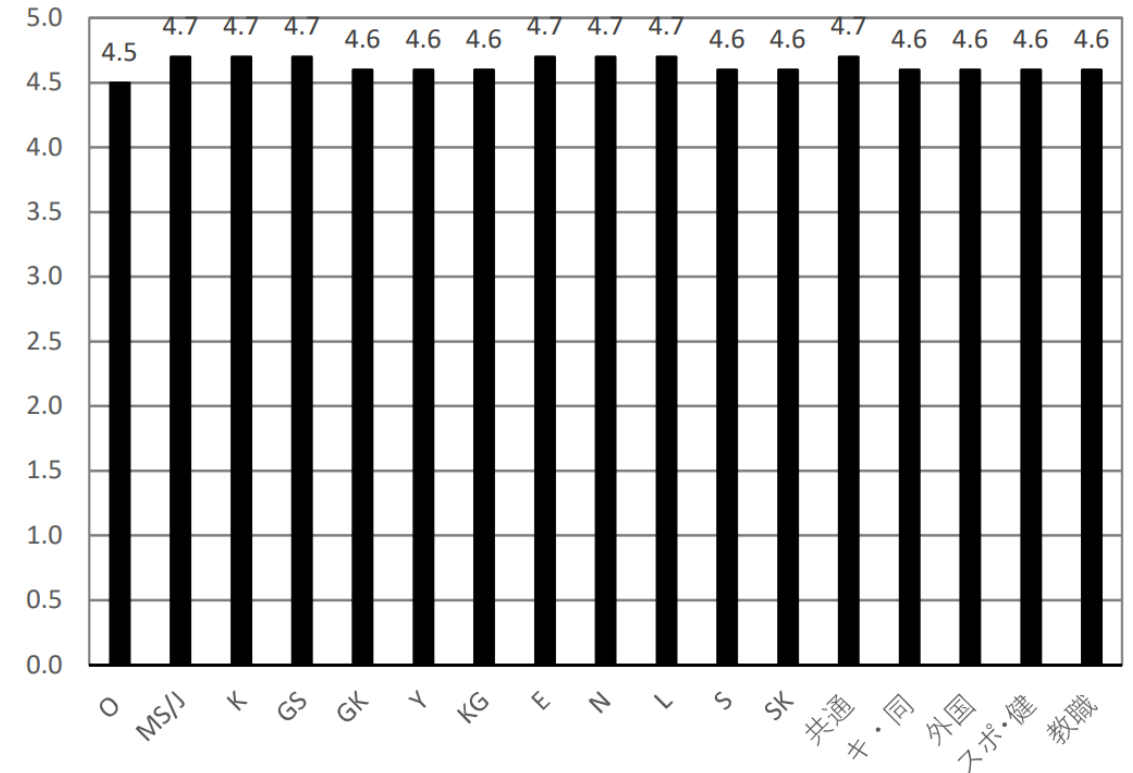
国際教養学科科目 集計結果
(各質問項目は付録1参照)

(4) 遠隔授業の評価は良好

- 遠隔授業の場合に問われた、Q18（遠隔での授業は滞りなく行われたか）については、どの学科も平均4.5を超えている。

→今期は授業第1週目のみ全面オンラインであり、評価対象はほぼ「もともとオンラインで設計された授業」のみであったと考えられる。

このことより、授業内容がオンラインに適し、オンラインとして設計された授業については、今後も問題なく実施できると考えられる。



遠隔授業は滞りなく行われたか（学科科目別）

略称は付録2参照

(5) 授業で向上したと感じる力(DWCLA10) (全学平均)

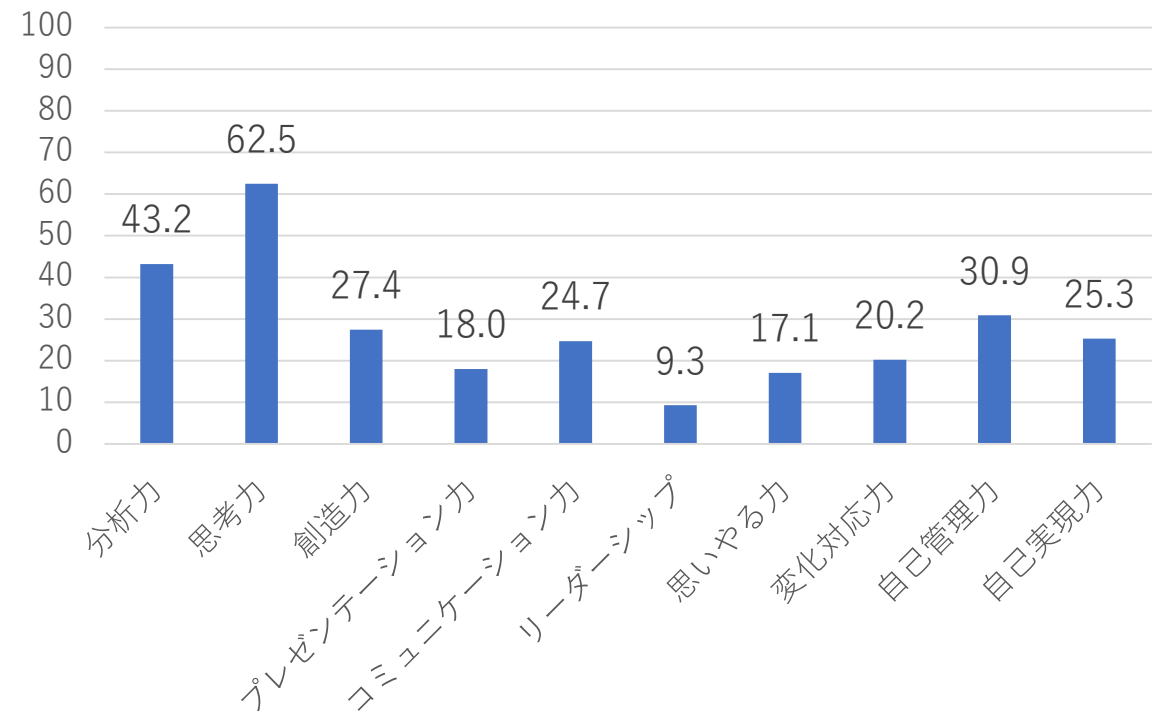
- 授業で伸びたと感じる力の上位3つは、**思考力**(62.5%が選択)、**分析力**(43.2%)、**自己管理能力**(30.9%)

→分析と思考は基礎として必要な力であろう。演習やプロジェクト系の科目では自己管理能力も鍛えられていると思われる。

- リーダーシップ**が9.3%と最も低い

→これからの社会で必須の力であるため(どの項目もだが)、もう少し評価を高めるべく授業設計したいところである。

ただ、ここで言うリーダーシップ(*)が学生に理解されておらず、狭義の「統率力」として評価されている可能性はある。学生へ伝えることも必要と考える。



授業によって向上が感じられた力 (DWCLA10)

(※) リーダーシップ

- 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する計画力
- 目的を設定し確実に実行する力
- 他人に働きかけ巻き込む力
- チームで問題解決できるコラボレーション力

(6)授業で向上したと感じる力(DWCLA10) (学科科目比較)

力が向上したと感じた受講生が最も多い学科科目

- 国際教養学科が、分析力をはじめとする5項目でトップ評価。
→ここでも、国際教養学科科目にて多くの力がついたと評価されている。教職員の工夫と努力に謝意を表すとともに、教育姿勢やノウハウについて共有を図りたい。
- 創造力は、メディア創造学科、
思いやる力は、看護学科、
変化対応力は、現代こども学科、
プレゼンテーション力は、英語英文学科が高選択率。

→各学科の特色に直結しているように見える。強みを維持するとともに、より伸ばす方向での努力を期待したい。

DWCLA10	選択率が最も高い学科科目
分析力	国際教養学科科目
思考力	国際教養学科科目
創造力	メディア創造学科科目
プレゼンテーション力	英語英文学科科目
コミュニケーション力	国際教養学科科目
リーダーシップ	食物栄養科学科食物科学専攻科目
思いやる力	看護学科科目
変化対応力	現代こども学科科目
自己管理力	国際教養学科科目
自己実現力	国際教養学科科目

※ただし、科目群も含めると「コミュニケーション力」と「リーダーシップ」で、スポーツ健康科目群がトップ

おわりに

2021年度秋学期の授業に関するアンケートの総評として、特徴的と思われる6項目に着目し、述べさせて頂いた。

評価アンケートは、結果に基づきPDCAを回していくことによってその目的が達せられる。各教員に個別の担当授業科目の改善を行っていただくことはもちろん、学科には結果をもとにカリキュラム自体の確認を行っていただくことを望みたい。当教育開発支援センターとしては、今後のFD活動の計画に、この結果を活かしていきたいと考えている。

なお、アンケート結果の信頼性を担保するためにも、回答率を回復させることは急務であり、アンケート回答時間の授業内確保に加えて、様々な手段にて教員および学生にリマインドをかける工夫も実施していく。

付録1：アンケート項目 と 回答基準(次ページ)

Q1	授業内容はシラバスに合っていましたか。
Q2	受講生の理解度を確認めながら授業が進められていましたか。
Q3	授業レベルは自分に合っていましたか。
Q4	教員からの一方向的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたが。
Q5	提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナビーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
Q6	言葉による説明だけでなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたが。
Q7	自主学習を促す工夫がなされていましたが。
Q8	工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。 1.分かりやすいパワーポイントや板書 2.聞き取りやすい話し方 3.教科書や配布資料の活用 4.マナビーの活用 5.トラブルへの対応
Q9	この授業は全体として満足できる内容でしたか。
Q10	この授業の予習、復習、自主学習（授業時間90分を除く）に1週当たり平均どれくらい時間をかけましたか。
Q11	あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。
Q12	あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
Q13	あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。 1.授業内容に興味・関心があった 2.授業方法に興味・関心があった 3.成績評価方法・基準に興味・関心があった 4.先輩や友人等の勧め 5.卒業又は免許・資格の取得に必要なだから
Q14	到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたが。
Q15	あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
Q16	DWCLA10の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください（複数選択可、なしも可）。*16番と17番は1つの質問として回答してください。 1.分析力 2.思考力 3.創造力 4.プレゼンテーション力 5.コミュニケーション力
Q17	（16番続き）DWCLA10のうち、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください（複数選択可、なしも可） 1.リーダーシップ 2.思いやる力 3.変化対応力 4.自己管理力 5.自己実現力
Q18	※遠隔で授業が行われた場合のみ回答してください。 遠隔での授業は滞りなく行われましたか。
Q19	任意項目
Q20	自由記述欄（上記回答の理由など、特記事項があれば記入してください。）

【回答基準】 Q1～Q7、Q10、Q11、Q13、Q14、Q17

5:そう思う Agree 4:ややそう思う Somewhat Agree 3:あまりそう思わない Somewhat Disagree 2:そう思わない Disagree 1:わからない Don't Know その他:未回答 Unanswered

Q8:

5.分かりやすいパワーポイント板書 Effective use of teaching aids such as power point slides or boardwork

4.聞き取りやすい話し方 Clear and strong voice

3.教科書や配布資料の活用 Effective use of textbook and handouts

2.マナビーの活用 Effective use of Manavi system

1.トラブルへの対応 Trouble shooting

その他:未回答 Unanswered

Q9:

5.3時間以上 3hrs. or more.

4.2時間以上3時間未満 2hrs. to less than 3hrs.

3.1時間以上2時間未満 1 hr. to less than 2hrs.

2.30分以上1時間未満 30min. to less than 1 hr.

1.30分未満 less than 30min.

その他:未回答 Unanswered

Q12:

5.授業内容に興味・関心があった Interest in the class contents

4.授業方法に興味・関心があった Interest in the method of class instruction

3.成績評価方法・基準に興味・関心があった Interest in the grading method

2.先輩や友人等のすすめ Recommendation from seniors or friends

1.卒業又は又は免許・資格取得のための必修科目だから Requirement for the graduation and specific license or qualification

その他:未回答 Unanswered

Q15:

5.分析力 Analytical ability 4.思考力 Thinking power 3.創造力 Creative ability 2.プレゼンテーション力 Presentation skill 1.コミュニケーション力 Communication skill

その他:未回答 Unanswered

Q16:

5.リーダーシップ力 Leadership 4.思いやる力 Capacity for compassion 3.変化対応力 Responding to change 2.自己管理能力 Self-management power

1.自己実現力 Ability for self-realization その他:未回答 Unanswered

付録2：学科および科目区分の略称

略称	学科および科目区分
O	音楽学科科目
MS/J	メディア創造学科/情報メディア学科科目
K	国際教養学科科目
GS	社会システム学科科目
GK	現代こども学科科目
Y	医療薬学科科目
KG	看護学科科目
E	英語英文学科科目
N	日本語日本文学科科目
L	人間生活学科科目
S	食物栄養科学科食物科学専攻科目
SK	食物栄養科学科管理栄養士専攻科目
共通	共通学芸科目
キ・同	キリスト教・同志社関係科目
外国	外国語科目
スポ・健	スポーツ・健康科目
教職	教職科目